＜学校長より メッセージ＞

同じ志をもつ仲間と共にスポーツに取り組むことを通じて、日々心と体を鍛え、目標に向かって努力を重ね、この大会での活躍・優勝をめざし努力を続けてきた皆さんにとって、今回の大会の中止はつらく、悔しく、悲しい知らせと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大は想定外の出来事であり、これまで学校の臨時休業や部活動の制限など、皆さんの日常生活にも大きな影響を与えています。5月21日から分散登校をはじめ、5月25日から通常通りの日課で学校生活がスタートしました。学校では、新型コロナウイルス感染予防対策として、三密を避ける行動や学校の「新しい生活様式」を取り入れて生活してきました。県内では、新たな感染者は4月30日を最後に、7月7日まで68日間連続で感染ゼロをキープしていましたが、米軍基地内の感染者増やGo to キャンペーンなどを契機により一気に感染者が増え、島尻地区夏季大会、夏休みを目前にして、沖縄県の状況はかなり厳しいものとなってきました。いつどこでクラスター感染が起きるか分からない状況の中、中体連の各種競技を行うことは難しく、生徒の皆さんはもちろん、大会に関わる多くの方々の健康と安全、そしてかけがえのない生命を守ることを第一に考えた上での判断と考えます。

この大会が開催されないことはとても悲しいことですが、これまで頑張ってきた自分。そして、皆さんを支えてくれた保護者や顧問の先生方はもちろん、一緒にプレイしてくれる仲間や道具、練習場所など、周りのすべてに「感謝の気持ち」を忘れないでほしい。

いつの日か新型コロナウイルスが終息し、これまでの生活が戻り、そして、次のステージにおいて、多くの仲間と共にスポーツの楽しさや喜びを味わえるようになることを願っています。

南城市立玉城中学校
校長 上原 久由